

メロンの 品質向上・鮮度保持に カルシウム強化栽培！



メロンは 90%以上が水分であることから低カロリーとなっておりますが、高血圧を予防するカリウムや健康や美容に効果があるビタミン類を多く含み、赤肉系品種にはカロチンが多く含まれた機能性豊かな果菜です！！

【硫酸カルシウム肥料】



カルゲン®

【粉状・粒状】 15 kg入り

メロン栽培の特長

- ◆ 栽培適性の土壌 pH は 6.0～6.5 の弱酸性
- ◆ 土壌の適応性は広いが有機質に富み、保水力があり、排水が良く、耕土の深い圃場を好む
- ◆ 根は酸素供給量がたかく、浅根である
- ◆ 生育の適温は 22℃～30℃で、地温は品種格差があるが最低 16℃
- ◆ カルシウムは生育初期から窒素やカリと同等に必要な成分だが、果実肥大期からネット形成期にかけて要求量は更に増加する
- ◆ カルシウムは果実内に存在する割合は 10%と低いですが、糖を生産する器官（葉）の構成と機能の維持に参与している
- ◆ メロン栽培において、品種改良などもありカルシウム欠乏の発生は比較的少ないが、高糖度の新品種が増えていますので栄養素としてのカルシウムを見直す必要がある

養分吸収量（収穫 1 トン当たり） kg

チッソ N	リン酸 P ₂ O ₅	カリ K ₂ O	カルシウム Ca	マグネシウム Mg
2.6	1.0	4.2	3.0	0.3

カルゲンとは・・・

- ◆ カルシウムとイオウが結びついた石膏（農業用石膏）を主原料に製造したカルシウム特殊肥料
- ◆ 酸性のカルシウム肥料ですから土壌の pH が上昇することなく、連用することで土壌を団粒化して、有効微生物の繁殖を促す
- ◆ 石灰類（炭カル）に比べ約 170 倍水に溶けやすく、作物に吸収されやすい水溶性のカルシウム肥料
- ◆ 作物が健全に生育するために必要なカルシウムの養分補給に最適
- ◆ 特に、窒素過剰による生育障害を軽減（拮抗作用）

カルゲン施用量（当社推奨基準）

	施用方法	施用量	備考
元 肥	全面土壌混和	3～4 袋/10 a	定植前（他の肥料と同時施用）
追 肥 2	土壌灌水・葉面散布 （ネオカル水和剤又は カルゲンβ液剤）	100～150ℓ/10a 1,000 倍液	生育状況を確認しながら！ 農薬と混用可能 （銅剤・アルカリ剤を除く）

☆ 上記の施用量は標準です。土壌診断を基準に施用量を増減してください。

☆ 酸性土壌の場合は石灰類等を加用してください。

☆ 詳しくは、お近くの販売店または営農指導員の方へお尋ねください。

《総販売元》



吉野石膏販売株式会社